

NPO部門 **優秀賞**

特定非営利活動法人鹿児島砂防ボランティア協会

鹿児島市

団体の紹介・活動の目的

当協会は任意団体として平成9年5月に設立し、平成17年4月に特定非営利活動法人として認可され、現在195名の会員で活動しています。

土石流危険渓流、桜島地区の土砂災害危険箇所、急傾斜地崩壊危険箇所の調査、土砂災害防止講習会の実施、土砂災害警戒区域等の指定に伴う住民説明会等へ講師派遣するなど土砂災害に対する備えや早めの避難などの啓発活動を行っており、住民が安全で安心して暮らせるまちづくりを目指しています。

活動の内容

平成20年度から県本土の土砂災害防止施設、渓流調査、斜面等の点検・監視や土石流災害に係る砂防施設の緊急点検に取り組み、点検の結果、異常を確認した場合、遅滞なく県へ報告する等、行政と協働して土砂災害対策に取り組んでいます。

また、平成23年に鹿児島県と大規模土砂災害発生時における技術支援協定を締結し、大規模災害時の災害復旧支援等に会員を派遣しているほか、砂防技術研修会を開催する等、技術支援にも取り組んでいます。

その他、土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域等の指定に伴う住民説明会の実施や企業及び自治会等で防災研修を開催するなど、地域における警戒避難体制の構築や二次災害の防止に積極的に取り組んでいます。

連携・協力している団体など

鹿児島県庁、各市町村役場、国土交通省大隅河川国道事務所、県建設技術センター、各地の老人クラブ など



土砂災害防止施設、渓流調査、斜面等の点検

平成20年度から延べ9,754箇所の土砂災害防止施設等の点検を行い、これまで延べ5,744名の会員が参加しています。



鹿児島県と大規模土砂災害発生時における技術支援協定を締結

県と大規模土砂災害発生時における技術支援協定を締結し、大規模災害時には災害復旧支援等に会員を派遣する等、技術支援に取り組んでいます。



南大隅町根占山本地区（舟石川）で土石流災害の現地調査

大規模災害が発生した際、現地に会員を派遣し、国・県の緊急調査に協力しました。



土砂災害警戒区域等の説明会

県が土砂災害警戒区域を指定した際、県と共同で住民説明会を開催し、警戒避難体制の構築や二次災害の防止に取り組みました。